

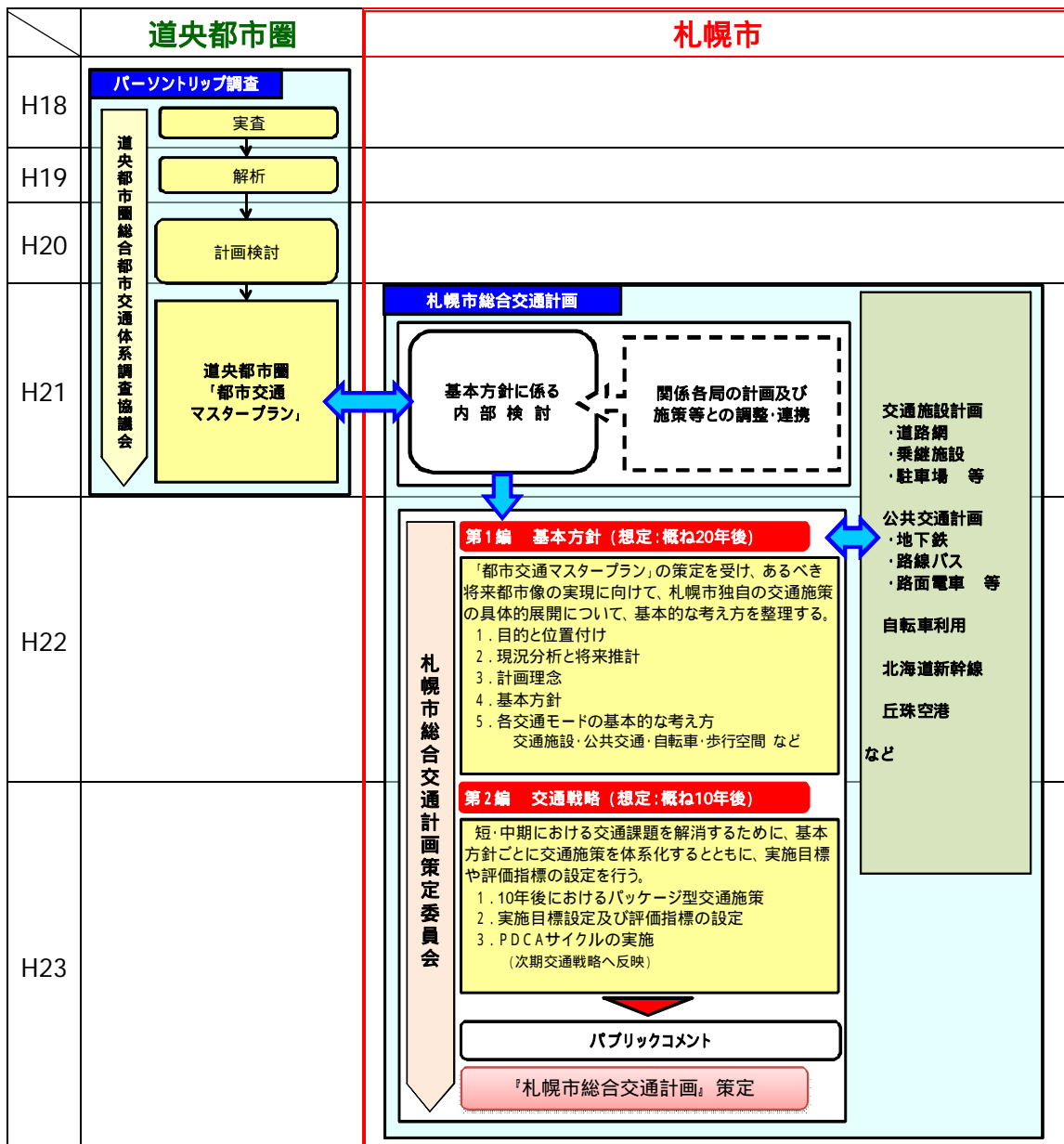
1. 札幌市総合交通計画の目的と位置付け

1-1 計画の目的

札幌市を含む道央都市圏では、平成 18 年度より「道央都市圏総合都市交通体系調査協議会」を組織し、「第 4 回道央都市圏パーソントリップ調査」を実施してきました。

少子高齢化の急速な進展、経済活力の低下、低炭素型都市の実現などの課題のあるなか、あるべき将来都市像を定め、これらを実現するため、道央都市圏「都市交通マスタープラン」が平成 22 年 3 月に策定されました。

この策定を受けて、札幌市としてもパーソントリップ調査によって得られたデータを活用しながら、「第 4 次札幌市長期総合計画」などの上位計画の趣旨と整合を図り、札幌市独自の将来交通に対する基本的な考え方を整理するとともに、概ね 10 年間の短・中期計画となる交通戦略をとりまとめた『札幌市総合交通計画』を策定します。



1 - 2 計画の位置付け

平成 22 年 3 月に道央都市圏「都市交通マスタープラン」が策定され、道央都市圏における「あるべき将来都市像」の実現に向けた交通に関する基本方針が示されています。

『札幌市総合交通計画』は、これからの札幌市の都市づくりの指針である「札幌市都市計画マスタープラン」の趣旨と整合を図りながら、各種まちづくり施策等と連携し、札幌市を取り巻く様々な課題に対応した将来交通計画であるとともに、より効果的・効率的に事業展開が図れるよう各種交通施策を体系化（パッケージ化）した総合的な都市交通計画です。

